巨匠二人による
至福の一夜

Maria João Pires, piano
& Antonio Meneses, cello
DUO RECITAL

マリア・ジョアン・ピリス（ピアノ）
&アントニオ・メネセス（チェロ）
デュオ・リサイタル

2013年3/15（金）19:00開演（18:30開場）
キッセイ文化ホール（長野県松本文化会館）大ホール
7:00p.m. Friday, March 15, Kissei Bunka Hall

ベートーヴェン: ピアノとチェロのためのソナタ 第2番 ト短調 Op.5-2
L.v.Beethoven: Sonate für Violoncello und Klavier Nr.2 g moll Op.5-2

シューベルト: 即興曲集（3つのピアノ曲）D.946《ピアノソロ》
F.Schubert: Impromptus (3 Klavierstücke) D.946

J.S.バッハ: 無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV.1007
J.S.Bach: Suite für Violoncello allein Nr.1 G Dur BWV.1007

ベートーヴェン: ピアノとチェロのためのソナタ 第3番 イ長調 Op.69
L.v.Beethoven: Sonate für Violoncello und Klavier Nr.3 A Dur Op.69

入場料: S=¥7,000 A=¥5,000 B=¥3,000
（全席指定・税込・未就学児入場不可）

主催: 信濃毎日新聞社／オフィス・マユ
共催:（財）長野県文化振興事業団　後援: FM長野

一般発売開始: 11月25日（日）

チケットのお求めは…

店頭購入
【松本】キッセイ文化ホール、カタクラモール【安曇野】平安堂あづみ野店【伊那】長野県伊那文化会館【長野】ながの東急【上田】琴光堂【県内外】チケットぴあ（長野駅ビルMIDORI、井上、サークルK・サンクス、セブン-イレブン 他）/ローソン

ネット予約
オフィス・マユ http://office-mayu.net

電話予約
オフィス・マユ 026-226-1001 ローソンチケット 0570-084-003[Lコード: 32328] チケットぴあ 0570-02-9999[Pコード: 186-238]

【オフィス・マユでご予約後の入金方法】
チケット代+郵送料80円の合計金額をご入金下さい。ご入金確認後、チケットを郵送致します。
振込手数料はお客様にてご負担くださいますようお願い致します。
《郵便振替》口座記号・口座番号: 00520-9-77326 加入者名: オフィスマユ
《銀行振込》八十二銀行 県庁内支店 普通預金 口座番号: 31030 口座名: オフィスマユ

*駐車場は限りがございますので、ご来場はなるべく公共交通機関をご利用下さい。

お問合せ: オフィス・マユ 026-226-1001

マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ)
Maria João Pires, piano

©Benjamin Ealovega

2012年1月3日 ロンドン・ウィグモア・ホールでの公演より

1944年7月23日リスボンに生まれ、1948年には公開の場で初演奏を行った。

ポルトガルにおいて、カンポス・コエーリョとフランシーヌ・ブノワに師事。後にドイツにてローゼル・シュミットとカール・エンゲルに師事する。

15年に渡りエラート・レーベルで収録をしてきたが、その後ドイツ・グラモフォンに移籍し、すでに20年間ドイツ・グラモフォンでレコーディング活動を行っている。

ピリスは1970年以来、芸術が人生、社会、学校に与える影響の研究に没頭、社会において教育学的な理論をどのように応用させるか、その新しい手法の開発に身を投じてきた。破壊的で、物質優先の論理を強調するグローバリゼーションに対して、個人の成長を尊重する新しいコミュニケーションの仕方を研究した。

その成果のひとつは1999年ポルトガルのベルガイシュでの芸術研究センター設立として結実した。現在この活動は、スペインのサラマンカとブラジルのサルバドールにも拡げている。

また、2005年、"アート・インプレッションズ"という演劇、ダンス、音楽の実験的グループを結成した。

2009年春の日本ツアーでは「ショパン・プログラム」と「ベートーヴェン・プログラム」をチェリスト パヴェル・ゴムツィアコフと共に披露し、絶賛を博した。

アントニオ・メネセス(チェロ)
Antonio Meneses, cello

1957年ブラジル生まれ。16歳の時、南米ツアー中のアントニオ・ヤニグロと出会い、渡欧。1977年ミュンヘン、1982年チャイコフスキーの両国際コンクールで優勝を果たす。

ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、ロンドン響、イスラエル・フィル、サンクト・ペテルブルグ響、スイス・ロマンド管、ニューヨーク・フィル等の世界のオーケストラと共演を重ねる。共演した指揮者には、カラヤン、ヤンソンス、アバド、プレヴィン、ブロムシュテット、テミルカーノフ等が挙げられる。

プエルトリコのカザルス・フェスティバル、ザルツブルグ、プラハの春、モーストリー・モーツァルト、カラムーア、タングルウッド、ラヴィニアなどの音楽祭に多数招かれる。フェルメール・クァルテット、エマーソン弦楽四重奏団、メナヘム・プレスラー(ピアノ)、マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ)等と度々共演。1998年より解散までの10年間ボザール・トリオのメンバーとして世界ツアーを行う。

録音は、カラヤン指揮ベルリン・フィルで、ブラームスの二重協奏曲、シュトラウスのドン・キホーテをドイツ・グラモフォンから。C.P.E.バッハの3つの協奏曲、ハイドンの協奏曲等をリリース。バッハの無伴奏組曲の再録音、シューベルト、シューマン、メンデルスゾーンのチェロソナタ等があり、プレスラーとのベートーヴェンのチェロソナタ全集は高い評価を得た。

現在バーゼル(スイス)在住。ベルン音楽院で後進の指導にもあたる。

マリア・ジョアン・ピリス
Maria João Pires

モーツァルト:ピアノ協奏曲第27番&第20番

マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ)
モーツァルト管弦楽団
指揮:クラウディオ・アバド
録音:2011年9月 ボローニャ&ボルツァーノ
SHM-CD ● UCCG-1593
定価¥2,800(税抜価格¥2,667)

11月21日発売

後期ショパン作品集

ショパン:
ピアノ・ソナタ第3番、チェロ・ソナタ、夜想曲第17&18番
マズルカ第36～41、45、47&51番
ワルツ第6～8番、《幻想ポロネーズ》

マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ)
パヴェル・ゴムジャコフ(チェロ)
録音:2008年5月、7月
CD2枚組 ● UCCG-1428/9
定価¥4,200(税抜価格¥4,000)

好評発売中

発売・販売元:ユニバーサル ミュージック

ユニバーサル ミュージックのホームページで 商品が購入できるようになりました!(一部商品を除く)
詳細は http://www.universal-music.co.jp/classics/